

社会

[ホーム](#) [社会](#) [スポーツ](#) [マナー](#)・[経済](#) [政治](#) [国際](#) [科学](#) [地域](#) [特集](#)[社会](#) [トップ](#) [文化](#) [お](#) [く](#) [や](#) [み](#)[ホーム](#) > [社会](#)[天気](#) [地図](#) [交通情報](#) [映画](#) [写真](#) [ツールバー](#) [サイトマップ](#)

フィッシング初のご用、偽「ヤフー」の会社員を逮捕

インターネット検索大手「ヤフー」のホームページ（HP）に似せた画面をインターネット上に開設し、間違ってIDなどを打ち込んだ会員の個人情報を入手したなどとして、警視庁ハイテク犯罪対策総合センターと戸塚署は13日、大阪市平野区長吉戸、会社員藪野一真容疑者（42）を著作権法違反と不正アクセス禁止法違反の疑いで逮捕した。

企業の正規のHPを装い、個人情報を盗み取るなどする「フィッシング」行為の摘発は全国で初めて。

調べによると、藪野容疑者は今年2月ごろ、ヤフーに酷似させたHPを開設して、同社の著作権を侵害、さらに、長崎県の男性会社員（59）が本物のHPと間違って入力したIDとパスワードを入手し、このIDなどを使ってヤフーの会員専用HPに不正アクセスした疑い。藪野容疑者は、HPのアドレスの一部を本物の「yahoo」と一文字違いの「yafoo」としていた。

藪野容疑者はコンピューター関連会社のシステムエンジニアで、調べに対し、容疑を認めているという。

警視庁では、藪野容疑者が開設したHPに1か月間で約70人がアクセスし、うち約20人分の個人情報が盗まれたとみている。藪野容疑者は他人の電子メールをのぞき見るなどしていたが、警視庁では、他人になりすまして買い物をするといった金銭的な被害は現段階ではないとしている。

警察庁によると、偽のHPを使ったフィッシングによる被害は、昨年1年間で4件報告されているが、いずれも金銭的な被害は確認されていない。今年もすでにフィッシング被害が数件報告されており、同庁はフィッシング110番を設置するなど防犯対策を強化している。

（2005年6月13日21時24分 読売新聞）

特集

[トップ](#)[大学野球選手権青学大優勝](#)
[北朝鮮](#)
[尼崎・脱線事故](#)
[橋梁談合](#)
[愛・地球博](#)[読売新聞](#) ▶[ご購入のお申し込み](#)
[データベース](#) [ヨミクラブ](#) [ケータイ](#)[PR](#) [外国人雇用状況報告制度にご協力をお願いします。厚生労働省](#)[PR](#) [光接続値下げ！683円/月～家族4人まで追加ID無料](#)

トピックス

[トップ](#)[@CARS対決 ミニバン新モデル](#)
[マナー・経済](#) [ユーロ](#) [安](#) [鮮](#) [明](#) [に！](#)
[医療と介護](#) [お](#) [ね](#) [し](#) [ょ](#) [治](#) [療](#) [は](#) [何](#) [歳](#) [か](#) [ら](#)
[大手小町](#) [ノータイ](#) [の](#) [夏](#) [ス](#) [マ](#) [ー](#) [ト](#) [に](#)
[ネット](#) [フ](#) [ォ](#) [ン](#) [ト](#) [っ](#) [て](#) [何](#) [？](#) [モ](#) [ニ](#) [太](#)
[ホーム](#) [ガ](#) [イ](#) [ド](#) [広](#) [～](#) [い](#) [ベ](#) [ラ](#) [ン](#) [ダ](#) [“](#) [庭](#) [”](#) [に](#)
[本](#) [よ](#) [み](#) [う](#) [り](#) [堂](#) [ケ](#) [・](#) [タイ](#) [・](#) [ス](#) [ト](#) [・](#) [リ](#) [・](#) [ズ](#)
[ジョブ](#) [サ](#) [ー](#) [チ](#) [”](#) [ユニ](#) [ク](#) [ロ](#) [”](#)
[社](#) [長](#) [の](#) [オ](#) [フ](#)
[donna](#) [ど](#) [う](#) [し](#) [て](#) [こ](#) [う](#) [な](#) [る](#) [の](#) [！](#) [？](#)
[教育](#) [写](#) [真](#) [は](#) [「](#) [記](#) [憶](#) [を](#) [持](#) [っ](#) [た](#) [鏡](#) [」](#)

「マンション新時代」オープン!



有料サービス

ニュース

コラム

解説 / 動向

事例

講座

ランキング

ピックアップコンテンツ

- ▶ IT最新情報「Form Application Server」
- ▶ **New!**
エンタープライズシステムをLinuxで構築
- ▶ **New!**
ネットワーク運用を学ぶ6/28セミナー開催
- ▶ 全米標準ハードウェア診断ツール出荷開始
- ▶ **New!**
データのドリルダウンによる問題解決とは?
- ▶ 採用担当者と経験者に訊く転職成功の秘訣
- ▶ AVAYA WORLD JAPAN 05
総額300万円アンケート
- ▶ SOAに基づくプロセス統合を実現するには?
- ▶ Windows Server x64
「64-bit活用ガイド」
- ▶ **New!**
NetWorld+Interop2005
【速報サイト開設中】
- ▶ **New!**
情報共有とナレッジ蓄積で、社内改革実現
- ▶ 2万人の情報保護を3台のサーバで実現!?

今週のトピックス

PR

- ▶ 多機能ファイアウォール/VPNで小中規模ネットワークのセキュリティ向上
- ▶ SOA時代のSAP活用! 経営とITの融合とは【SAP SAPHIRE '05】参加無料!
- ▶ 『なぜ、サイボウズはMySQLを採用したのか?』

ニュース

▶ キーワード: セキュリティ / フィッシング

[2005/06/10] ▶ バックナンバー



「フィッシングの標的になる前に、国内ユーザーは意識を高めるべき」 セキュアブレイン

「米国に比べれば、国内のフィッシング事例はゼロみたいなもの。だが、今後“フィッシング組織”に目をつけられれば、被害が増えて、米国同様オンライン・サービスを信用できないような状況になりうる。その前に、サービス提供者だけでなくユーザーも意識を高めておく必要がある」。セキュリティ・ベンダーであるセキュアブレインの山村元昭チーフテクノロジーオフィサーは6月10日、IT Proの取材に対して注意を呼びかけた。

山村氏によると、フィッシングは今やビジネスになっており、フィッシングを試みる人物(フィッシャ)は国際的な組織を形成しているという。“フィッシング組織”が現在主なターゲットにしているのは、英語圏のユーザー。フィッシング目的の偽メールや偽サイトは英語で記述されている。名前を悪用される企業も米国に拠点を置く企業であることが多い。

日本が狙われない理由は「組織が日本の実情や日本語を知らないため」(山村氏)。だが、実情を知れば、集中的に狙われる可能性があるという。例えば、フィッシング組織から個人情報入手した人物は、その情報を使って偽のキャッシュ・カードを使ってお金を下ろそうとする。しかし「米国では、1回で引き出せる限度額は300~500ドル。一方、日本では数百万円。このような状況を知れば、日本がメイン・ターゲットになる可能性がある」(同氏)

Microsoft

.NETでアプリケーションの統合をすんなり平和に。

もっと詳しく知りたい方は
こちらから。



セキュリティ関連情報 PR

- ▶ DoS攻撃に対処するにはどのような機器が必要? トップレイヤーが即解答
- ▶ 小中規模ネットワークのセキュリティ向上多機能ファイアウォール/VPNで
- ▶ 攻めに転じるセキュリティ戦略とは? 7月7日セミナー開催



事例はこちら ▶

読みたい記事は何ですか?

キャッシュ・カードやクレジットカードなどの売買情報は、インターネット上のサイトで交換されているという。「そのようなサイトは『カーディング・サイト』と呼ばれている」（山村氏）。カーディング・サイトでは、フィッシング組織が偽カードを作るための情報を売りに出す。偽カードを作りたい人物が、欲しいカードのブランドをフィッシング組織に“発注”する場合もある。「日本では偽カードを使いやすい」といった情報が広まれば、カーディング・サイトで発注され、国内の銀行やクレジット会社の偽メールや偽サイトが次々と出現する可能性がある。

「現状では、偽メールや偽サイトの多くが英語で記述されている。このため、日本語で記述されていると、国内ユーザーはつい油断してしまう」（星澤裕二プリンシパルセキュリティアナリスト）。国内でも“フィッシング（phishing）”の認知度は高まっているが、まだまだ知らないユーザーは多い。知っているても、対岸の火事だと思っているユーザーも少なくない。本格的に狙われる前に、国内ユーザーは対策するべきだ。

だが、「『これだけやれば十分』という技術的な対策は存在しない。ユーザーの意識を高めることが最も重要である」（山村氏）。読者のみなさまも、身の回りのユーザーに「フィッシング」という詐欺が存在すること、十分注意する必要があることなどをぜひ伝えていただきたい。

（勝村 幸博 = IT Pro）

[専門サイト「IT Pro Security」トップへ](#)

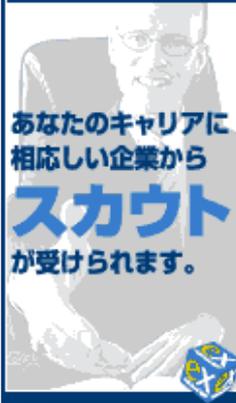
● [セキュリティ 関連情報](#) [PR](#)

- ▶ [トップレイヤーのIP Sは、業界で唯一NSSのダブル認証を取得しています。処理性能もお墨付き](#)
- ▶ [小・中規模ネットワーク向け多機能ファイアウォール/VPN Symantec Gateway Security300/400](#)
- ▶ [『攻めに転じるセキュリティ戦略』ソリトン セキュリティフォーラム 2005開催、7/7登録受付中](#)

● [関連記事](#)

- < 最近のフィッシング関連記事 >
- ▶ [「フィッシング目的の『サーバー乗っ取り』が増えている」米APWG \(2005/06/06\)](#)
 - ▶ [米Bank of America、フィッシング対策の認証システム「SiteKey」を導入 \(2005/05/28\)](#)
 - ▶ [イーバンクのフィッシング対策、プロバイダを制限するサービスを開始 \(2005/05/13\)](#)
 - ▶ [「巧妙になるフィッシングの手口、米国ではメールを信用できない状況に」セキュアブレイン山村氏 \(2005/05/12\)](#)
 - ▶ [「フィッシング対策協議会」が活動開始、一般消費者へ情報提供と注意喚起 \(2005/05/02\)](#)
 - ▶ [Yahoo!オークションをかたるフィッシング・メールが出回る \(2005/04/19\)](#)
 - ▶ [VISAをかたる日本語フィッシングが再び、偽サイトではURLを偽装 \(2005/04/18\)](#)
 - ▶ [氾濫するフィッシングで募るネットへの不信感、あなたの会社は対策をしていますか \(2005/04/18\)](#)
 - ▶ [被害世界一の米イーベイに学ぶ最先端のフィッシング対策 \(2005/04/15\)](#)
 - ▶ [フィッシングの手口と対策を知る \(2005/04/12\)](#)
 - ▶ [セキュアブレイン、Webサイト向けにフィッシング詐欺の対策ソフトを出荷開始 \(2005/04/08\)](#)
 - ▶ [「格安航空券販売を装うフィッシング詐欺サイトに注意」、スペインのPanda Softwareが警告 \(2005/04/08\)](#)
 - ▶ [Windows Updateの偽サイト出現、フィッシングの可能性 \(2005/04/07\)](#)
 - ▶ [ネットを蝕むのはフィッシングだけじゃない、DDoS攻撃も「高度なも](#)

スカウト・サービス



ヒット・ランキング

【ニュース】

2005年06月12日
から過去7日

- 1位 [東洋ビジネスエンジ、システム・トラブルで訴えられる](#)
- 2位 [「2005年度は1000万台近いLinux搭載3G携帯を出荷する」 NTTドコモ 照沼和明氏](#)
- 3位 [マイクロソフト、パッチ配布/管理ソフトWSUSの無償提供を開始](#)
- 4位 [【緊急インタビュー】「マイクロソフトを卒業して、コンピューティングの未来に人をつなぎます」--古川享氏](#)
- 5位 [【単独インタビュー】「当社が不正アクセスの手口を公開しない理由」、カカコムの穂田CEO](#)

[MORE](#)

人材紹介会社があなたの転職を **無料** でサポートします

あなたをスカウト

人材紹介会社がプロの眼で

日経BPエキスパート **転職エージェント**

キャリアシート登録受付中

のだけで1日60件」(2005/04/06)

▶「フィッシング対策には、偽サイト情報の周知が効果的」と米ホールセ
キュリティ (2005/04/04)

▶「フィッシングは、IMの悪用や“ファームング”へ」 業界団体が警
告 (2005/03/28)

▶UFJ銀行をかたった日本語フィッシング・メールが発生 (2005/03/15)

▶スパム/フィッシング対策(1) (2005/03/14)

▶2005年フィッシング事情 (2005/03/10)

▶国内のWebサーバーがフィッシングに悪用される、関係者は「全く気付
かなかった」(2005/02/22)

Feed Back!

この記事への
IT Pro会員の皆様の
評価をお聞かせく
ださい

ほとんど読んだ 参考になった
一部だけ読んだ 参考にならなかった

▶ コメントも書く ▶ 皆様の評価を
見る

▶ 印刷用ページ

▶ 記事トップ

▶ バックナンバー

日経BP社

Copyright (C) 2000-2005 Nikkei Business Publications, Inc. All rights reserved.

記事中の情報は、記事執筆時点または雑誌掲載時点のもです。

このサイトに掲載されている記事、写真、図表などの無断転載を禁じます。

詳しくは[こちら](#)をご覧ください。

各コンテンツへは原則として自由にリンクいただいて結構ですが、
URLは事前に予告なく変更・削除する可能性があることをご了承願います。

e-mail address : iteditor@nikkeibp.co.jp